

## 細江カトリック教会だより 11月

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

## 聖徒の交わり

枯れ葉の散る道を歩いていると、亡くなった友人のことを思いだしてしまいます。葉っぱが散るように、だれしもいつかは人生の終末を迎えるのですが、葉っぱのように消えていくのではなく、神さまは私たち一人ひとりに新しいいのちを与えてくださるでしょう。これがキリスト者の信仰です。けれども私の友人は病床で、それは本当なのだろうか、内心の不安を打ち明けました。

パウロがコリントの信徒への手紙で書いているように、コリントの教会には「死者の復活などない」と言う人がいたようです(1コリント 15・12以下)。これに対して、パウロは「死者の復活がなければ、キリストも復活しなかったはずです。そして、キリストが復活しなかったのなら、わたしたちの宣教は無駄であるし、あなたがたの信仰も無駄です」と言います。もし死者の復活がなければ、自分は復活しなかったはずのキリストを神が復活させたと言っているのだから、偽証人となってしまいます。そして、その証しのために生涯を捧げているのだから、すべての人の中でもっとも惨めな者となってしまふ、と述べています。

パウロの論理がどこまで現代人に説得力をもつか、わかりません。しかし、たとえばカルメル会のシスターたちが一生のあいだ狭い囲いの中で真剣に修道生活を送っておられるのを見ると、パウロと同じ思いに駆られます。もしシスターたちの信仰が妄想にすぎないとしたら、とてもあのような生活を生涯にわたってまっとうすること

はできないでしょう。

今年は、下関で長く教会のために尽くされたリントホルスト神父さまや、小さい姉妹モニカ郁子シスターをはじめ、なつかしい恩師たち、友人たちが世を去られました。この方々も、その生涯を通して、信仰を証してくださいました。その証しは、私たちが混迷した世界の中で決して迷うことなく、純粋に復活の信仰に生きるよう励ましてくれます。

ところで、毎日曜日のミサの中で唱える「使徒信経」で、私たちは「聖徒の交わり」を信じると宣言します。「聖徒」とは、公に列聖された聖人たちのことではなくて、「召されて聖なる者とされた人々」(1コリント 1・2、ローマ 1・7 など参照)、つまり洗礼を受けて神の民となった信徒のことです。そして「聖徒の交わり」とは、信徒たちが神の恵みを互いに分かちあっているということです。

だから、ある人に与えられた恵みはすべての信徒たちにとっての恵みであり、一人の人に欠けるところがあれば、その人は他の兄弟姉妹のいただく恵みを分かち与えられます。この恵みの共有は、時間と場所の違いを超えていて、人生の途上にある人々と、すでに神のもとに召された人々とのすべてに及んでいます。

死者の月には、天国にある私たちの家族、親族、友人たち、恩人たちのことを思い起こしましょう。地上にあってさまざまな試練に遭遇している私たちに、彼らが神さまのもとで取りなし、必要な力と希望を分かちあってくださいるように。

百瀬 文晃 神父



## マリア様ミニ黙想会 9/24

## 地区だよりⅦ

## 安岡地区



柴田潔神父さま（徳山教会）指導の黙想会に約 35 名の方々と参加しました。始めに神父さまはオーストラリアでの第三修練の時、ロザリオの祈りをし、マリア様にすがって危機的状況を脱したという体験を、ユーモアを交えながら話してくださいました。

第一講話は「マリア様の生涯を祈る」。聖書を中心に話されました。天使ガブリエルのお告げに衝撃を受けながらも一瞬にして“主のはしため”として奉仕する覚悟を決められたマリア様の姿に改めてうたれました。

第二講話の「マリア様に倣う」では、カナの祝宴での全体に目を向ける、深入りする、主に信頼して動じないマリア様を黙想しました。神の喜ばれることを最優先にしたマリア様の“はい”という神様への答え。「生涯繰り返した“はい”は決断の刷新です」という言葉が心に残りました。

「マリア様のどこに憧れ、これからどのように歩いていくか？」と祈ることが、霊的な糧になるということに気づかされました。

個人的に振り返る時間が少なくて残念でしたが、小さなグループで良い分かち合いができました。人間的なマリア様、深入りするマリア様、近づきたいマリア様、本当のマリア様の存在の意味を深く味わうことができた黙想会でした。感謝！

増田 裕子

3 年前、この細江カトリック教会に初めて伺った時、シスター山田にお目にかかりました。

「わたくしたちはちいさいこども～イエスさま～あなたのよい子にしてください」半世紀と少し前。暁の星幼稚園で習った聖歌です。「アベ、アベ、アベマリア～」暗くなった園庭でろうそくを持って、両親と歌いながら、ゆうくり歩いたこと、えんじ色のローブと黒いベールのシスター（当時はマドレ）のお姿、思い出が一気に甦ってきました。シスター山田はその時の園長先生でした。お目にかかれるなんて！！

あの頃は、「私の肩にはいつも天使がいて、私を守ってくれるの。」「神さまといつもお話しているの。」など無邪気に言っておりました。

三つ子の魂でしょうか。その頃の純粋な気持ちが心の奥の方にあっただけかもしれません。

まだまだ信者としては、ほやほやですから何だか、よく分からないこともたくさんですが、今、この時も感謝です。

平田 素子



## 天使幼稚園運動会 10/7



\* 園庭いっぱいの保護者の応援隊。

\*朝の小雨で、開催がどうなるのかな？と心配していましたが、直ぐにお天気になって、良かった！良かった！

今年も信徒 10 名の方のご協力をいただいて、ホールやセンターでのお手伝いをしていただきました。

ホール係は置いている保護者の荷物を見守りですが、待っている間も話の輪が広がり、楽しく奉仕できたそうです。駐車場の誘導係と案内係は、それぞれ人々の流れ（不審者も）に気を配っていました。具合の悪くなった保護者の方もおられて心配でしたが、無事に回復されて“ホッ”としました。

運動会では、小さな園児の頑張っている姿、可愛い動きを見て、幼い頃の我が子を思い出していました。・・・その頃の若きパパとママも既におじいちゃん、おばあちゃんになっている私たち。年月の経つのは早いものです。温かい気持ちで一日を過ごさせていただきました。

近藤



\*整列して、今度は何の競技かな？先生のユニホームは幸せの黄色いポロシャツ。園長先生も一緒。



\*可愛い～！一生懸命でダンスを披露0。

## ホームレス支援弁当作り 10/27 (金)

お弁当作りに参加して

ホームレスの方々への支援の一環として、お弁当120食を届けるための準備作業に参加しました。

労働教育センターの調理場で、スタッフの皆様と3教会の信徒20数名が、ご飯と6種類のおかずを分担して手際よく用意しました。3時間ほどの奉仕でした。それを小倉の抱撲館に届け、そこからボランティアの方たちが配って回られるとのことでした。少しでも温かい気持ちになっていただけたらと思います。改めて、継続的に奉仕活動をなさっている方々に感謝いたします。

大住 雅子



\*労働教育センターの厨房にて。



\*卵焼き、ヒジキの煮物、人参しりしり・・・たくさんの総菜が並びます。



\*（お手伝いの方々）ここには写っていませんが、他の方も協力してくださいました。

## ペトロ祭 10/28 (日)

♪ ペトロはこたえます きっぱりと  
主イエスはわたしの救い主 神を信じる  
かたい岩～～ ♪



ミサ後、12時から14時30分まで、ペトロ祭が開催されました。前日は雨が降り外庭にテント張りができず、当日も午前中雨が降りましたが、午後から晴れて、子どもたちのゲーム遊びができました。

今年度は保健所の規定が厳しく、楽しみにしているパウンドケーキ、餡餅、赤飯が出品されなくて残念でしたが、チヂミ、焼き鳥、フランクフルト、焼きそば、ぜんざい等、頑張ってくださいまして賑やかになりました。役員、各地区の方々、特に彦島教会の方々の協力で楽しく無事に終わることができました。ありがとうございました。

山の田地区 吉山 啓子



\*チヂミコーナーのシスターと達人(彦島)。朝早くから準備でお疲れさまでしたね。

\*うどん係  
細江と本町地区  
笑顔で対応。



\*焼きそばチームは、若い人中心に頑張りました。教会に望みあり！



\*焼き鳥チームは、煙くすぶる中をもくもくと焼き続ける。彦島教会の徹司さんの協力で、助かった～～と、豊之さん。可愛い萌ちゃん(彦島)も接客にまわってくれました。

若者たちは、皆さんが帰ってからもテラスの掃除など、最後まで後かたづけをしてくださり、本当にお疲れさま！感謝しています！

近藤

## お知らせ

☆クリスマス  
チャリティコンサート☆  
12月2日(土) 14:00開催

☆待降節黙想会☆  
12月10日(日) 9:

00

～救い主を待つ心～  
講師；白浜 満 司教